

えんがわ だより

災害ボランティア養成講座のお知らせ
寄付のご案内(入れ歯、動物保護)

調布市市民活動支援センター
市民活動を応援する情報誌
2022.7 No.190

特集

慈恵医大「ボランティア論」から
人生十色 私を豊かにするまちの入り口



—— まちをより良くしたい 誰かのために何かやってみたい ——

当センターは、そんなあなたにそっと寄り添うため、「まちのえんがわになりたい」を合言葉に運営しています。「えんがわだより」は、調布のために活動する団体・ボランティアや寄付活動など、多彩な情報を紹介し、調布がさらに元気になることを願って、毎月15日に発行しています。活動のお問い合わせやご相談のほか、ご感想もお待ちしております。

おしらせ

【国領】スポーツウエルネス吹矢無料体験

吹矢は性別や年齢を問わず誰でも手軽にでき、ゲーム感覚で楽しみながら健康になれるスポーツとして注目されています。血行促進、細胞の活性化に役立ち、内臓にもよい影響を与えます。一緒にはじめましょう！

【日 時】7月25日(月)7月28日(木)8月1日(月) 各日程 13:00～16:00

【場 所】調布市市民プラザあくろす 3Fあくろすホール

【対 象】高齢者 【備 考】参加費無料

【問合せ】調布・桜いきいき支部 支部長 半田 080-5655-3158

フレイル予防のおながく広場

地域の交流と健康の維持を目的にした音楽療法の会です

【日 時】2022年8月1日(月) 13:30～14:30 【場 所】総合福祉センター202会議室

【対 象】高齢者 先着13名 10名を超える場合は2グループになる場合もあります

【備 考】参加費500円 予約不要 【問合せ】原真理子 090-4208-8688



夏休み子どもバリアフリー映画会のお知らせ ※音声ガイド&字幕付き

小さい子どもも、目や耳のご不自由な方も皆さん一緒に楽しめます！

【内 容】「パートナーズ 盲導犬チエの物語」～ 一匹の犬(チエ)と親ハピーウォーカーの家族、訓練士のたまごの剛が、ともに成長していく心温まる物語

【日 時】7月30日(土) 13:30～ ※上映時間119分 【場 所】緑ヶ丘地域福祉センター

【対 象】子ども以外でもどなたでもどうぞ ※感染予防のため参加人数を制限する場合があります

【備 考】主催:市民活動支援センター 緑ヶ丘コーナー 協力:DRMAE調布 緑ヶ丘映画愛好会

【問合せ】緑ヶ丘コーナー 折原 03-3326-4088 (火・木・土)

※コロナ感染状況によっては、講座の中止や変更となる場合があります



調布憲法ひろば 7月学習会

出口の見えないウクライナの悲惨な状況。ここから日本は何を学び、台湾や北朝鮮問題と向き合っていけばいいのでしょうか

【内 容】ウクライナ情勢をどう見て平和に生かすか お話：笹本潤さん(弁護士・国際民主法律家協会・9条地球憲章の会)

【日 時】7月17日(日) 13:30～16:00 【場 所】たづくり10階1002学習室

【備 考】参加費 300円 主催：調布九条の会「憲法ひろば」(略称「調布憲法ひろば」)

【問合せ】042-487-7710 (石川)

染地地域福祉センターが来年3月末まで使用が出来なくなります

染地地域福祉センターは、改修工事のため「令和4年8月1日から令和5年3月31日」使用禁止となります。ボランティア室や貸し出し室を使って活動してきたボランティア団体も活動場所を「染地ふれあいの家」「多摩川住宅口号棟集会室」「都営住宅集会室」に移動して活動を継続いたします。

新たな活動場所等々のご相談は、染地コーナー渡邊までご連絡ください

【問合せ】国領下車すぐ 調布市市民あくろす 2F 042-443-1220 渡邊まで



お話とどけ隊「カランコエの花かご」

YouTubeチャンネル 調布の民話、調布市「絵本と童話の会」のメンバーさんが制作した手作りの絵本や紙芝居を動画でご紹介しています。紙芝居「ころばり地そうさま」紙芝居「ちょうちんになったたんぽぽ」絵本「なかなかおりできたかな？」是非ご覧ください【問合せ】kalanchoe.hanakago@gmail.com



【緑ヶ丘】スポーツウエルネス吹矢 無料体験会

老若男女、誰でも気軽に楽しみながら健康に！

【日 時】8月20日(土) 10:00~12:00

【場 所】緑ヶ丘地域福祉センター 大会議室(緑ヶ丘2-18-49)

【対 象】高齢者

【備 考】予約不要、直接会場にお越しください

【主 催】市民活動支援センター(緑ヶ丘コーナー) 03-3326-4088

※お問合せのある方は、上記Telにご連絡ください



ご寄付をお待ちしております

不要になった「入れ歯」をご寄付ください

歯にかぶせた金属、歯に詰めた金属、歯と歯をつないだ金属も貴重な資源に生まれ変わります！

入れ歯に含まれる金属を集めてリサイクルし、その収益をユニセフを通して、世界の子どもたちを支援するNPO法人の活動に協力をしています。

収益の一部は、助成プログラム「えんがわファンド」の原資になっています。

不要になった「入れ歯の回収BOX」は、総合福祉センター1階に設置しています。



調布の動物保護、地域猫活動のため物資のご寄付を募集しています

猫砂、ペットシート、調布市もえるごみ袋、ウエットティッシュ、ティッシュ、キッチンペーパー等、カーペット用クリーナー、ねこ用おもちゃ、猫フード、猫用おやつ(ちゅーる等)

皆様からご寄付いただいた支援物資は、調布の動物保護、地域猫活動をしている団体でご活用いただきます。皆さまからのあたたかいご支援をお待ちしています



ボランティアガイダンスに参加しませんか(要予約)

初めてボランティアに参加する方も、安心して活動をスタートできるようサポートをしています

※マスクの着用、検温にご協力ください ※ご本人及びご家族が、体調不良の場合は、参加をお控えください

7月21日(木) 14:00~15:00

場 所:富士見地域福祉センター内 富士見コーナー
ご予約:担当・岡澤 042-481-8719(火・木・土)

8月27日(土) 11:00~12:00

場 所:緑ヶ丘地域福祉センター内 緑ヶ丘コーナー
ご予約:担当・折原 03-3326-4088(火・木・土)

人生+色 私を豊かにする まちの入り口

慈恵医大「ボランティア論」から

市民活動支援センターでは、4年前の2019年から、東京慈恵会医科大学医学部看護学科(以下、慈恵医大)の「ボランティア論」(1・2年生の選択授業)で、授業の1コマと履修生のボランティア体験先の調整を行い、将来、看護師や保健師を目指す学生の学びのお手伝いをしています。今回の特集記事では、この授業の目的や、地域活動に参加した学生の感想の一部を紹介します。



慈恵医大「ボランティア論」のねらい 慈恵医大看護学課教授 嶋澤 順子 氏より

慈恵医大「ボランティア論」へのご協力、本当にありがとうございます。「ボランティア論」は、看護学科としてこれまでにない先進的取り組み科目として4年前に設置した科目です。調布市市民活動支援センター、調布市内のボランティア活動の皆様からの多大なご協力を得て、開講しています。

学修の一環として行う「ボランティア活動参加」を通して、学生たちはこれまで体験し得なかった活動との

出会い、理念を持って行動されている市民の皆様との出会い、といったダブルの出会いをもつことが、大きな学びにつながっていると考えています。未来の医療保健福祉の場で創造的に活動する力を、市民の皆様から授けていただいている、と思っています。これからも、どうかよろしくお願いいたします。



嶋澤 順子 氏

授業の内容

ボランティア論は、4月～6月の前期の授業として実施されていて、大きく分けると①ボランティア活動の概説(定義や歴史)を学ぶ時間と、②活動体験に向けた準備、③活動体験、④活動報告会の4つのパートに分かれています。センターでは、②の部分で授業でお伝えし、③で活動団体の皆さんご協力のもと、履修生の体験をサポートしています。

今年度の授業では、センター職員の講義に加え、えんがわだより4月号で特集した「しばさき彩ステーション」の副代表、大木智恵子さんから、活動内容や想いを臨場感たっぷりに語っていただきました。授業後の学生の感想では、様々な活動や参加する方の背景を意識しながら活動に参加することで、将来の看護に役立つと感じたといった嬉しいコメントをもらうことができました。

ボランティアに参加した学生の声

『入間樹林の会』の活動に参加し、樹林を保全するためのトラップ作りや草刈り体験をしました。

今回のボランティア活動を通して、その意義や魅力は何か改めて考えることができたと思います。私が導き出した答えは一つではありませんが、その中でも一番強く感じたことは「地域とのつながりが生まれる」ということです。

活動に参加していなければ、入間樹林の会のメンバーとは一生出会っていなかったかもしれないですし、入間樹林に足を運ぶこともなかったかもしれません。ボランティアは一期一会ということを心から感じました。

ボランティアを通して、地域を知り、人と出会い、自分の価値観を広げられる。自分の世界が広がれば人生の選択肢が増え、それは確実に自分への大きな利益になる。こうしたことを自分の身で直に体感でき、とても良い経験になりました。



『川の図書館』という活動に参加しました。『川の図書館』は多摩川の河川敷で行われていて、寄付された本を無償で提供する活動です。

私は、本の片付けや整理、地域の方々と交流をしました。初めは、緊張してなかなか自分から話しかけることができませんでしたが、地域の方々の温かさに触れていく中で、徐々に勇気が湧き積極的に話ができるようになりました。

講義を受ける前は、ボランティアとは誰かのために何かをしてあげることと捉えていました。しかし、実際にボランティアに参加してみて、自分自身が成長できる場所でもあると実感しました。

年齢や性別など様々な方と交流することができ、とても楽しく充実した一日となりました。自分の身近な場所ではどんなボランティア活動が行われているのか興味がわきました。

『しばさき彩ステーション』にボランティアとして訪問しました。

私は活動を通じて、将来看護師として多くの患者さんに会う度にその方の背景をきちんと考え、その人らしさを大切にしていきたいと考えました。

1日という短い時間でしたが、持病がありながらもやりたいことに一生懸命取り組んでいる方や、多くの苦勞を重ねながらも工夫を続け、たくさんの人を笑顔にする方など、多くの人に出会うことができました。

このように『しばさき彩ステーション』で出会った方々は、様々な背景がありましたが、目標に向かって輝いていました。そのため、病気や怪我によりこの輝きが無くなるように、看護師として共に考え、解決し、輝きが増すようなサポートをしていきたいと思いました。



おわりに

今年度は学生の受け入れ先として、9団体の皆さまにご協力いただきました。学生の体験は、継続的に行われている活動の中のわずかな時間に過ぎませんが、体験を通して関わった方々の想いや人生観に触れ、様々な気づきや学びにつながったのではないかと思います。

地域では、異なるひとりひとりが様々な暮らしを送っています。誰もが当たり前、いつも幸せに暮らすことができれば素晴らしいですが、きっと誰にも少し躓いてしまったり、立ち止まりたくなったりする瞬間や経験があるのではないのでしょうか。そんな時、地域の中の気軽にアクセスできる場で、少しの息抜きをしたり、仲間を見つけたりできると、

新たな1歩が踏み出しやすくなるはずです。今回の授業が、誰もが取り残されることのない、ひとりひとりが幸せな社会の実現に向け、学生の視野が広がるきっかけになれば嬉しいです。

市民活動支援センターでは、今回学生を受け入れて下さった9団体のように、身近なところで地域や社会に繋がることが出来る多様な入り口があることが重要だと考えています。入り口を探している方も新たな入り口を作りたいという方も、ご相談をお受けしていますので、お気軽に市民活動支援センターへいらしてください。



ボランティア



1 運行サービスボランティア

- 【内 容】公共交通機関の利用が困難な方のために福祉車両を運転し、外出を支援する活動です
- 【場 所】NPO調布ハンディキャブ事務局
- 【資 格】普通自動車運転免許（過去2年間に免許停止処分を受けていない方）
- 【対 象】30歳～73歳 【備 考】福祉有償運送に必要な資格講座費用（2日間）は当法人で全額負担します。
修了証受領で福祉有償運送の資格が得られます。わずかですが謝礼金を差し上げます
- 【問合せ】NPO調布ハンディキャブ事務局 042-440-3860

2 調布学園、第二調布学園、二葉学園で生活する子どもの、フレンドホームに なっただけのご家庭を募集します

「フレンドホーム制度」は、乳児院や児童養護施設で生活している子どもを、学校がお休みの期間などに、ご家庭でお預かりいただく制度です

- 【内 容】ご家庭で対象の子どもをお預かりいただき、交流していただきます
- 【日 時】土曜日、日曜日、祝日など、学校がお休みの期間で、ご都合の良い数日の間
- 【場 所】ご自宅 【備 考】フレンドホーム制度の詳細は、こちらの2次元コードまたは、東京都福祉保健局HPでご確認ください



フレンドホームに
ついてはこちら

【問合せ】調布学園・第二調布学園 フレンドホーム担当(富士見町3-18-1)

042-483-7611 mail jidoyogo@chofugakuen.com

二葉学園フレンドホーム担当（上石原2-17-7）

042-482-2578 mail gakuen@futaba-yuka.or.jp

一災害ボランティア養成講座開催のお知らせ一

災害ボランティア養成講座 2022 は、「ペットの避難を考える」です。大切なペットの災害時のペット避難について考えてみませんか。お申込みは、お名前、お電話、メールアドレス、所属団体(ある方)を、メール送信してください

《対象者》 災害時のペットの避難にご興味のある方、地域の避難所運営に関わる方等で、調布市民(在勤、在学を含む)の方

《申込み》 7月21日(木)よりメールにて受付。※先着20名、参加費:500円(全4回分)

《申込み先メール》 npo-center@ccsw.or.jp

●講座内容

第1回目 日程:8月29日(月) 19:00～21:00 内容:調布市が計画する災害時のペットの避難について

第2回 日程:9月16日(木) 19:00～21:00 内容:地域が検討しているペット避難について

第3回 日程:9月30日(金) 19:00～21:00 内容:災害時のペット避難の実際

第4回 日程:10月29日(土) 午前中(予定) 内容:「調布市総合防災訓練」にボランティア参加

※講座会場は第1～3回は、市民プラザあくろす2階会議室1、第4回は調布市総合防災訓練会場となります

●問い合わせ

市民活動支援センター 電話 042-443-1220 FAX 042-443-1221

メール npo-center@ccsw.or.jp 担当 高木/成田



市民活動支援センターからの発信

私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。

愛逢月

染地コーナー

さあ！！地域の皆さんと一緒に



10分体操 歳を取るなんて怖くない

「何とか、ボランティアさんの元気の源、心の拠り所となっている活動を継続して欲しい」との思いから、高齢者でも歩いて通える活動場所を探し始めました。現在、団体の意向に添って活動場所の紹介を終え、やっと落ち着きを取り戻しつつあります。毎月の予約・申請手続き、利用料算出等々これからいくつかのハードルを越えなければなりません。

さあ！！地域のボランティアさんと一緒に、強い気持ちをもって、一步一步、乗り越えていきたいと思っています。

(わたなべ)

3月、染地地域福祉センターを利用している団体のもとに「改修工事に伴う貸し出し室利用の中止」のお知らせが届きました。それから今日まで「長年続けてきた活動ができなくなる。どうしよう!」と不安を訴えるボランティアさんからの相談に対応する日々が続いています。コロナ禍で当たり前の日常を失い、仲間に会える喜び、おしゃべりできる楽しさ、心地良い居場所の大切さをあらためて気づかされた矢先、活動場所を失ってしまうのだから、その不安の大きさは計り知れないものがあります。



写真整理 終活のお手伝いします

富士見コーナー 蕎麦打ち道具のご寄付に感謝します

寄付のお申し出ありがとうございます。「門前そば打ちクラブ富士見会」にご寄付いただいた道具を使った手打ち蕎麦の試食会が富士見地域福祉センターで開催されました。会の活動歴は20年を超え、月1回の試食会は地域の交流の場として定着しています。

ツルツルと喉越しの良い麺で、お腹も心も満たされてみんなニコニコ。美味しい！は、ほんわか、じんわり幸せを呼ぶのです。そして、魅力的な仲間の存在こそ活動が長く続く秘訣です。場に集う人との関わりから私も元気をいただいています。



みんなの側で美味しい蕎麦を

(飛沫防止パーテーションで座席を仕切り、少人数で安全に留意して実施。状況により一時休止することもあります)

ご寄付が人の縁を繋ぎます。蕎麦打ち道具のご寄付をお考えの方は富士見コーナーまでご連絡ください。活動に共感した企業や個人から応援をいただき、地域に還元しています。

(おかざわ)

センターと各ブランチへのアクセス

●市民活動支援センター



調布市国領町2-5-15 コクティ2F
Tel 042-443-1220
Fax 042-443-1221
Mail npo-center@ccsw.or.jp
開館時間 8:30～22:00
休館日 第3月曜(祝日の場合は翌平日)

●小島町コーナー



調布市小島町2-47-1
総合福祉センター2F
Tel 042-481-7695
Fax 042-481-6611
Mail kojimacho@ccsw.or.jp
開館日時 月～金曜日
9:00～17:00
コーディネーター 佐藤・浅見

●染地コーナー



調布市染地3-3-1
染地地域福祉センター内
Tel/Fax 042-481-3790
Mail somechi@ccsw.or.jp
開館日時 火～土曜日 9:00～17:00
コーディネーター 波邊

●西部コーナー



調布市上石原2-15-6
西部地域福祉センター内
Tel/Fax 042-426-4335
Mail seibu@ccsw.or.jp
開館日時 火～土曜日
9:00～17:00
コーディネーター 涌井

8月1日～2023年3月末まで改修工事のため休館いたします
工事期間の連絡は市民活動支援センター(あくろす)まで

●菊野台コーナー



調布市菊野台1-38-1
菊野台地域福祉センター内
Tel/Fax 042-481-6500
Mail kikunodai@ccsw.or.jp
開館日時 火・木・土曜日
9:00～17:00
コーディネーター 青木

●富士見コーナー



調布市富士見町4-15-6
富士見地域福祉センター内
Tel/Fax 042-481-8719
Mail fujimi@ccsw.or.jp
開館日時 火・木・土曜日
9:00～17:00
コーディネーター 岡澤

●緑ヶ丘コーナー



調布市緑ヶ丘2-18-49
緑ヶ丘地域福祉センター内
Tel/Fax 03-3326-4088
Mail midori@ccsw.or.jp
開館日時 火・木・土曜日
9:00～17:00
コーディネーター 折原

●野ヶ谷の郷



調布市深大寺東町6-27-3
Tel/Fax 042-481-1838
開館日時 火・木・土曜日
10:00～16:00

ボランティアさんで運営する地域の居場所

「であい・ふれあい・支えあい」

野ヶ谷の郷

入り口の看板にある

「ちょっとのぞいてみませんか?
お気軽にお立ちよください」
の言葉そのままに
初めていらした方にも心地よく
今日の出会いに感謝!!



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する

えんがわファンドサポーター募集中 **1口3,000円**



会費は、地域や社会の課題を解決するために、調布で活動するボランティア・市民活動団体等を応援する助成金「えんがわファンド」の原資になります。
「調布のまちをあなたが変える」そんな1歩を踏み出してみませんか?